

男山地区子育て応援モデルプロジェクト

〔 八幡市 〕

総事業費：45,410千円

事業の概要・背景

【概要】

- 男山地区内に核となるパブリックスペースを整備し、子育て世代・多世代間の交流や、近隣の子育て支援機関等との交流を誘引。そこでの出会いを契機に、子育て支援機関等の利用拡大に繋げるなど、男山地区全体で子育てを守り、支える取組を強化。

【背景】

- 男山地区に点在するおひさまテラス、あいあいポケット等の支援機関等はいずれも「拠点型」施設であり、利用者間の交流は一定あるものの、利用者以外との交流が起こりにくい点が課題。また、支援機関等未利用者の中には、支援機関等の利用に対して「敷居が高い」と感じられる方もいると考えられ、支援の広がりに限界。
- 子育てにやさしいまちづくりをさらに前進させるためには、交流を誘引する「場」の確保と多世代の団地内外住民による交流促進が課題。

主な事業

◇：交付対象事業
◆：関連事業

- ◇さくら近隣公園及びこども動物園リニューアル事業
- ◇さくら近隣公園ライトアップ事業
- ◆絆ネット構築支援事業
- ◆おひさまテラス運営助成事業 等

事業成果指標

- こども動物園利用者数
- おひさまテラス利用者数
- あいあいポケット利用者数

	令和元年(基準値)	令和3年(目標値)
こども動物園利用者数	29,143人(H30)	35,000人
おひさまテラス利用者数	661組	720組
あいあいポケット利用者数	8,879人	10,700人

モデル性に係る取組(実現性・継続性・創意工夫)

ポイント

子育て支援施設であるおひさまテラスなど、地域住民をはじめ多様な主体が連携できる素地が備わる男山地区内のさくら近隣公園を、様々な出会い・交流が起こるパブリックスペースとして整備

- 子育て支援施設であるおひさまテラスや、住民が気軽に集えるだんだんテラスの開設、絆ネット構築支援による地域の高齢者・障がい者・児童等の見守り活動推進等、地域住民をはじめとする多様な主体が連携できる素地が既に備わっており、多世代交流型のパブリックスペースを核にして、地域コミュニティ活性化につなげようとする点に創意工夫がある。

